

令和5年度の第1回講演会（オンライン方式）のご案内

回次	日時	講師・演題
令和5年度 第1回 (通算第34回)	令和5年 7月23日(日) 15～17時	矢尾板 操 さん ＜米沢有為会理事＞ (我妻榮記念館 館長) ○我妻榮先生の人となり伝える —没後50年・記念館開設30周年に際して

＜講師の自己紹介＞

昭和25(1950)年、矢尾板家第13代として米沢に生まれる。米沢興讓館高校を経て、福島大学経済学部卒業。旧三菱銀行(現三菱UFJ銀行)に約20年勤務。平成10年米沢に戻る。米沢信用金庫に約10年勤務。余談ながら、米沢に戻った平成10年は、実に不思議なご縁が重なった年。興讓館藩学創設三百年の年で、矢尾板三印が開設してから三百年と新聞報道。応援歌にある「栄えある歴史三百年・・・」の三百年で、その後細井平洲先生が再興し興讓館としたのは有名な話。市史編纂委員で矢尾板三印のお墓研究者の提案に もとづいて法音寺高梨良興住職と故米野一雄前温故 会会長と私で発掘作業を行い、平成19年に発見・発掘される。故米野一雄先生の温故会での発表の日に信用金庫を退職しサラリーマン生活を卒業。その後、福島大学大学院経済学研究科(修士課程)卒業、同大学院共生システム理工学研究科(博士課程)満期終了。平成26年山形交通圏タクシー事業適正化・活性化協議会会長、平成29年米沢有為会我妻榮記念館館長に就任して、現在に至る。